

◆特集◆ 常盤地区から新たな風を ～TENOHAN能代～

TENOHAN能代

常盤小中学校は、木をふんだんに使った、木都能代を象徴する建物で、平成16年に常盤小学校に常盤中学校、常盤地域連携施設を併設する形で完成しました。

長い間地域に愛された学校は、平成31年に常盤中学校、令和2年に常盤小中学校がそれぞれ閉校し、その歴史に幕を下ろしました。

その校舎の一部を本年4月に東急不動産株式会社が活用し、シェアオフィス、レンタルオフィス、みんなのリビング等を提供する、TENOHAN能代をオープンしました。

担当の二宮さんにお話しを伺いながら施設内を紹介していただきました。

シェアオフィス

シェアオフィスは、職員室をリノベーションした会員制の共有オフィスとなっていて、個人のスタートアップやテレワーク用のオフィスに利用できます。



職員室をリノベーションした  
シェアオフィス

レンタルオフィス

レンタルオフィスは、教室をリノベーションした契約者専用のオフィスとなっており、スタートアップ企業や企業のサテライトオフィスに利用できます。



教室をリノベーションした  
レンタルオフィス

詳細

シェアオフィス

34席（共有空間153平方メートル）  
月額利用料（税込み）  
個人9900円  
学生3300円

※1人当たり

県内法人1万7600円  
県外法人3万8000円

※1口当たり、2名利用可能

レンタルオフィス

全6室（専用個室11〜67平方メートル）

※参考プラン

面積37.18平方メートル、定員8名  
月額利用料15万7850円（税込み）  
（県内利用者は、条件を満たせば月額利用料半額にて利用可能）

みんなのリビング

最後に、本号の表紙にもなっている、みんなのリビングは、いつ来てもいい、どれだけでもいい、誰もが気軽に立ち寄れる地域の共有空間です。予約なしで休憩や勉強、仕事等に利用可能です。

営業時間は10時から17時までで、イベント等の利用でなければ、無料で利用可能です。

担当者からのメッセージ

TENOHAN能代は、地域の皆様と共に育て、つくり上げる施設です。

みんなのリビングは日常にお使いいただけるほか、今後も定期的にイベントを実施する予定です。ぜひ施設に足を運んでいただければと思います。

取材を終えて

閉校後の校舎の活用は、市の重要課題の一つであり、遊休財産の活用という意味だけでなく、地域活性化につながる取組だと考えます。

また、レンタルオフィスはサテライトオフィス誘致につながるもので、これもまた地域活性化につながる取組だと考えます。

TENOHAN能代から常盤地区をはじめ、能代市に新たな風が吹くことを期待しています。

取材：鍋谷 暁 今野孝嶺

サテライトオフィス：企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのことで、本拠を中心として見たときに衛星のように存在するオフィスという意味から命名されました。